

2011年11月29日

関係各位 殿

## 東日本大震災にかかわるプロジェクトについて

東日本大震災で被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

立命館大学産業社会学部では、急きょ東日本大震災にかかわる授業（授業名：企画研究）を開講しました。授業を担当している私たちは、震災に関する研究を多面的に行い、受講生と共に様々な活動を計画・展開しています。例えば、様々な機関・団体と協力し、京都へ避難してきた被災地の子どもたちへの学習支援（11月中旬開始）、避難してきた人々を舞踊公演にご招待（11月19日、アゾルオ・ガーナ民族舞踊団日本公演2011）など。

こうした流れをふまえて、以下を計画いたしました。

### 記

1. 名称：おこしやす癒しやす京都
2. 趣旨：第1に、福島から被災された中高生（以下皆様）を京都へご招待し、大学生や京都に避難してきた被災地の人々と共に京都ならではのイベントに参加・体験して、心身共にリフレッシュしていただくこと、第2に、被災された皆様の思いをグローバルな視点からとらえつつ、その思いを共有することで共に励ます関係を築くこと。
3. 募集人数：京都に避難してきた被災地の小中高校生10名  
保護者10名の参加も可能であるが、1日3000円程度の実費が必要となる。
4. 募集期間：11月29日～12月15日（必着）
5. 募集要項：はがきに1.氏名（ふりがな）、2.年齢、3.自宅住所・電話・メールアドレス、4.学校名・住所・電話、5.「おこしやす癒しやす京都」参加希望 6.活動内容への特別な要望（自由記述）7.保護者の氏名（+承諾押印）を記載し、〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学産業社会学部遠藤保子宛て郵送。  
応募者多数の場合は、抽選。結果は、電話かメールで連絡。（上記要項は、立命館大学及び京都市ユースサービス協会のホームページに掲載。）問い合わせ先は、立命館大学産業社会学部メールアドレス [sansha11@st.ritsumei.ac.jp](mailto:sansha11@st.ritsumei.ac.jp)
6. 実施期間・場所：2012年01月06日～01月09日  
立命館大学衣笠キャンパス、京都市内
7. 活動内容：初詣、蹴鞠、餅つき、学生による様々なパフォーマンスなど
8. 宿泊先：立命館大学衣笠セミナーハウス  
〒602-8484 京都市北区衣笠氷室町9 電話 075-465-8110
9. 主催：立命館大学産業社会学部・教授 遠藤保子・小澤 亘（企画研究担当）  
共催：財団法人京都市ユースサービス協会、フロンティア協会、国際ロータリー第2530地区、2530地区ロータリー学友会、ロータリークラブ、福島大学ボランティアセンター  
立命館大学産業社会学部・教授 遠藤保子、小澤 亘